

相鉄・東急  
直通線開業

# 新駅周辺の「これから」

相鉄・東急直通線(羽沢横浜国大駅～日吉駅間)が、3月18日に開業します。交通の利便性が高まることで、港北区のさらなるにぎわいや活性化が期待されます。新たに誕生する「新横浜駅」と「新綱島駅」周辺の「これまで」に思いをはせながら、「これから」のまちの姿を見ていきましょう。

●問合せ 区政推進課 企画調整係 ☎540-2229 📠540-2209



地下1階日吉方改札口 イメージ(提供: JRTT鉄道・運輸機構)



地下1階デザインウォール(提供: JRTT鉄道・運輸機構)

## 相鉄・東急新横浜線 新横浜駅

### デザインコンセプト

#### 「新横浜Ver3.0 未来に向けて発展を続ける駅」

東海道新幹線、横浜市営地下鉄に続く、鉄道開通による変革第3弾として、「未来に向けて発展し続ける駅」を表現しました。

地下1階改札口には「駅付近の地層」に着想を得たデザインウォールを設置し、まちの歴史や発展の積み重ねを、地下4階ホームには木目調の天井材を使用し、「自然と調和した温もりと潤いの地下駅」を表現しています。異なる表現でデザインされた羽沢方と日吉方の各改札口の違いもお楽しみください。



鉄道・運輸機構 肥後さん

#### 新横浜南部のまちづくり

篠原口の駅前約3.5ヘクタールを対象に、市街地再開発事業の検討が進められています。

### 新横浜駅周辺の「これまで」

東海道新幹線、横浜市営地下鉄の開通で新横浜駅周辺がどのように変革を遂げてきたのか、新横浜町内会の白井さんにお話を伺いました。



60年前の新横浜駅周辺は、一面が水田でした。東海道新幹線の開業が最初の転換期となりました。



新横浜駅ができる前の様子



新横浜駅周辺の現在の様子(消防局航空隊撮影)

新駅周辺のこれまでを知ることができる、インタビュー記事はこちら!



区ウェブサイト

### 新綱島駅周辺の「これまで」

綱島が桃の名産地だったこと、温泉街だったことを知っていますか。綱島のまちがどのような歴史をたどってきたのか、池谷家16代当主の池谷道義さんにお話を伺いました。

曾祖父の道太郎は、多少の水害でも冠水しない果樹栽培である桃に着目し、1907年に「白月桃」の栽培を始めました。1914年にラジウム温泉が発見されると、綱島は温泉街としても発展しました。



池谷家主屋と桃畑(提供: 池谷桃園)



綱島駅にあった温泉旅館(提供: 綱島商店街協同組合)



地下4階ホーム階 イメージ(提供: JRTT鉄道・運輸機構)



地下1階改札口付近 イメージ(提供: JRTT鉄道・運輸機構)



新綱島駅周辺の整備状況(消防局航空隊撮影)



区民文化センター ホール イメージ